

平成19年度採択 文部科学省

「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」

# 自然環境診断マイスター養成

# 公開講演会

日時 2009.5月9日（土）13：00～15：30

会場 信州大学 理学部 講義棟 第1講義室

入場無料・予約不要

講演：高橋 英樹 北海道大学総合博物館 教授

「日本産ラン科アツモリソウ属植物の多様性と保全  
—特にレブンアツモリソウについて—」

## ご来場には公共交通機関をご利用下さい

### 信州大学への交通

JR松本駅「お城口（東口）」を出て、右前方「エスパ」地下1階、  
松本バスターミナル乗場①「信大横田循環線」又は、乗場③「浅間線」に乗りし、  
「信州大学前」下車徒歩2分。

主催 信州大学 理学部 自然環境診断マイスター養成審査委員会

お問い合わせ 信州大学 理学部 学生支援グループ マイスター担当 TEL 0263 (37) 2440

ホームページ <http://science.shinshu-u.ac.jp/~meister/>

# 平成19年度採択 文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」 「自然環境診断マイスター養成」について

理学部では、自然環境の「判別・生物多様性・保全策・防災対策」の能力を養い、自然環境教育・行政・事業に対し具体的な提言のできる「自然環境診断マイスター」を育成するためのプログラムを創設しました。

対象は、環境教育・行政・事業に係る現役教職員、大学又は専門学校を卒業した社会人、大学院生、再チャレンジ者等です。

講義方法は、土・日に集中講義を開講し、基幹実習（地質、植物、動物、大気、湖沼、遺跡調査法を1泊2日のフィールドワークで実施）、特別演習（グループ学習、講師招聘）、特別講演（一般公開を実施）を行い、各教科で6割以上の評価を得てマイスター養成審査委員会にて認定された受講者には、信州大学長名で「自然環境診断マイスター」の資格が授与されます。

開講回数は4回用意され、平成19年度には秋冬コース（終了）、平成20年度には春夏コース（終了）、秋冬コース（終了）、平成21年度には春夏コース（平成21年4月～9月 募集終了）が開設されています。

## 講演内容と講演者プロフィール

13:00～15:30

### 「日本産ラン科アツモリソウ属植物の多様性と保全 —特にレブンアツモリソウについて—

日本に分布するラン科アツモリソウ属植物の種類や分布パターンについて概説し、さらにレブンアツモリソウの分類・生態・保全に関する最近の知見を紹介する。この機会に絶滅危惧種をなぜそしてどのように保全するのかを考えてほしい。

**講師** 高橋 英樹 北海道大学総合博物館 教授

東北大学大学院理学研究科修了・植物分類地理学・千島列島の植物相・最近レブンアツモリソウの保全研究プロジェクトに参加し、分類学的な見直し、生育する場所の植生などの研究や、日口間の植物研究交流史に関連する資料調査などを行っている。

